

自著紹介「日本の家電製品 ―昭和を彩った家電製品―」

経営学部非常勤講師 佐竹 博（投稿）

昭和30年代、「三種の神器」と呼ばれた白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫と次々に電化製品が家庭に入ってきた時代だった。白黒テレビがお茶の間に据えられとときは、何かとても豊かな気分になったものだ。電化生活という言葉が生まれ、このような家庭電化製品、「家電」を揃えていくことに満足を感じていた。それは自分たちが豊かになっていくのを目に見える形で示していたし、そのことに幸せを感じていた。



昭和40年代後半、「電子立国日本」を象徴する製品が現れた。電卓である。この後、急速に普及していく電卓は膨大な生産量を背景に、立ち遅れていた日本の半導体産業を急速に立ち上がらせた効果は絶大であった。半導体はカラーテレビ、VTRにも使用されるようになり、これらの家電は世界的なヒット商品となって海外に羽ばたいていき、その後昭和60年代の「日米半導体摩擦」を引き起こすまでの産業へと成長していく。

昭和50年代には日本の家電製品は、欧米先進国の家電製品を凌駕した。品質、コスト造り込みでの、家電製品の技術的な進歩はめざましく、従来外国技術への依存から、自社開発の技術へと成長していった。

しかし、平成になると、これらの優位性がなくなった。国内における家電製品市場も停滞したが、その活性化対策として出てきたのが、ユニーク機能を持った家電製品である。高価格だが高機能な製品が次々と市場に登場した。斬新な技術で、消費者の夢と「使ってみよう」というワクワク感を喚起した。

日本の家電製品は自動車と並んで車の両輪として経済をリードしてきた。戦後の日本経済の成長・発展のなかで洗濯機、冷蔵庫、テレビ、オーディオ機器の普及、さらに情報化の家庭への普及が進み、家電産業は自動車産業と並んで耐久消費工業部門となった。同時に、この部門の成長発展が、日本の経済成長のひとつの原動力となった。

これら昭和、平成を代表し、歴史を作った家電製品について、その時代の社会状況と受け入れられた背景と対比しながら、「日本の家電製品」の成長過程について詳説している。

「日本の家電製品 ―昭和を彩った家電製品―」佐竹 博著（産業図書 152p・19cm・B6判）
は開架図書3階 545.88//Sa831に所蔵しています。

医中誌web講習会が行われました

「医中誌 Web」は、医学中央雑誌刊行会の医学論文情報検索サービスで、国内発行の医学・薬学・歯学及び関連分野の定期刊行物およそ 5000 誌から収録した約 700 万件の論文情報を網羅的に検索することが出来ます。

今回の講習会は薬学棟 18 号館パソコン室において難易度別に行われ、1～4 年生向けの初歩的な内容と、院生・教員向けのより高度な検索方法の 2 回に分けて実施されました。

また通常では同時に利用可能な人数が 2 名のところ、特別に ID を発行して多人数でも利用できるようにして、実地での検索演習も行いました。

参加者は第 1 部が 8 名、第 2 部が 51 名でした。

講習会で使用した資料は若干数残っておりますので、ご希望の方は図書館カウンターにお申し出ください。



図書館特別企画「国勢調査の歴史」-図書館と県民のつどい埼玉 2009-より

11 月 28 日に行われた「図書館と県民のつどい埼玉 2009」では、城西大学より「国勢調査の歴史」をテーマにした展示を行いました。それを記念して、図書館でも特別展示を行っています。

日本における国勢調査は 1920(大正 9)年に行われたものに端を発します。専門家からの指摘や外圧などもあって 1905(明治 38)年に調査を行う予定でしたが、日露戦争の影響で延期され、改めて 26 万人の調査員と延べ 331 万円(現在の金額に換算して 331 億円)を費やして実行されました。

調査にあたってはポスターや記念はがきが作られ、さらには講演会や宣伝などが頻繁に行われた、まさしく国を挙げての調査でした。

10 月 1 日の正午には紋付き袴の調査員が各世帯を訪れ、国民すべてを調査。萬朝報の当日の記事には、皇室でも同じ形式で御申告された、と載っています。その回収率は 100%以上とされています。

その他、台湾総督府による台湾の国勢調査も行われ、纏足(てんそく)者数なども一緒に調査されたことがわかります。

展示の逸品「日本帝國人口靜態及人口動態統計描畫圖並該描畫圖ノ基ヅケル統計表」

この統計表はサンフランシスコで「パナマ太平洋万国博覧会」が開催されることになった折に「帝國人口の靜態及び動態に関する統計を出品することで広く日本社会の状況を知ってもらう」という意図のもと、人口総数から人口密度、小児死亡などのカラー図表や統計で構成されたものです。

当時の朝鮮人、台湾人、樺太人などの人口統計も併記されており、他の人口統計では見られない珍しいものとなっています。

海外での出展を念頭に置いた丁寧な作りで、同時期に出版された人口統計描写図と比べても印刷の鮮明さ、紙質の良さなどにもそれが表れています。

年末年始休館日のお知らせ

図書館は年内 12 月 28 日まで開館です。

年始は 1 月 4 日から通常通りの開館になります。

せっかくの冬休み、ゆっくり読書でもいかがでしょうか。

来年もみなさんの来館を待っています。

□=9:00~21:00 ■=9:00~19:00

■=9:00~17:00 ■=休館日 になります

12月							1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5					1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30
							31						

NetLibraryを使ってみよう!

NetLibraryは図書を丸ごと電子化してネットワーク上で閲覧できるようにした「電子ブック(ebook)」です。

これはオンラインで提供されるため、『長期に貸出されて閲覧できない』というようなことはありません。

また、1時間につき10ページまで印刷することができます。最大の特徴は「全文検索できる」ことです。通常の書籍では索引等に頼らざるをえませんでした。電子ブックでは全文からキーワードで検索できるので必要な部分を素早く正確に見つけることができます。

城西大学のNetLibraryでは現在237冊の日本語の電子ブックを利用することができます。

電子ブックのコレクション一例

- ・シリーズ数学の世界
- ・遊びの創造共育法
- ・朝倉国語教育講座
- ・文明のなかの博物学
- ・ベルグソン全集
- ・「大菩薩峠」論
- ・BJT ビジネス日本語能力テストスコアアップ模擬テスト

NetLibraryの使い方

図書館ホームページ下の「クイックリンク」より「ebook」を選択する

または

図書館ホームページの右にあるリンクの「図書館資料案内」をクリックしてebookのNetLibrary(OCLC)を選択します。



NetLibrary にアクセスすると利用可能なコレクションが表示されます。



この簡易検索を使えば、本のタイトルだけでなく、内容からも網羅的に検索することができます。

こちらをクリックすることで直接内容を閲覧できます

著者や出版社だけでなく、抄録も閲覧できます

アカウント作成でさらに便利に!

アカウントを作成することでメモ機能が使えようになり、任意のページに付せんのような形でコメントを付けることができます。

また、図書館の電子ブックにリモートアクセスが可能になり、自宅からもアクセス出来ます。

図書館アンケートを実施中です

皆さんは図書館を利用したことがありますか。

図書館では皆さんからの声を聞いて、今後の運営に反映したいと思っています。

図書館をよく利用している方、まだ利用したことがない方など、様々なご意見・ご要望をお聞かせください。

アンケートは回答時に匿名データとして取り扱います。是非ご協力ください。

回答の仕方

1. 大学ホームページの左側にある「学習支援」から

「教育支援システム(WebClass)」

(<https://webclass.josai.ac.jp/>)を選択します。

WebClass のトップページに入ったら「ログイン画面を表示する」をクリックします。



2. ログイン画面になったら ID とパスワードを入力してログインします。

◆[UserID]と[Password]は学内の PC にログインするときのものと同じです。

◆ユーザ ID・パスワードを入力してもアンケート回答先には匿名データとして届きます。

※携帯電話からも回答できます！



3. 参加可能なコースの中から「図書館」を選んでください。



4. コース選択画面の「図書館利用アンケート 2009」を選択します。

初めて図書館を選ぶとコースのメンバーになるかどうか尋ねてきますので「メンバーになる」を押します。

5. テスト/アンケートより「図書館利用者アンケート」を選択して回答してください。



所要時間は 10 分ほどです。終了後はログアウトしてください。回答は後で修正もできます。

回答期限は平成 21 年 12 月 25 日(金)まで。

調査結果は図書館ホームページで公開します。